

あいさつ

世界的に活躍する写真家 所幸則の個展を地元香川で3年ぶりに開催。

所は、90年代からファインアートフォトグラファーとして国内外で高い評価を受け、2006年にその集大成的作品集『CHIAROSCURO 天使に至る系譜』を出版。これを機にそれまでのキャリアをリセットして、2007年からはモノクロームによる東京の渋谷のランドスケープに“時間軸”を取り入れて撮影した「渋谷 One Second」シリーズ、そして新幹線の車窓から流れる風景を撮影した「アインシュタインロマンス」シリーズなど、所が考える“時間的概念”は、時を重ねるごとに昇華されてその姿が、ファインダーをとおして作品に留められてきました。\\



Yukinori Tokoro「うさぎガールと黒縁眼鏡」シリーズより



Yukinori Tokoro「EINSTEIN ROMANCE」シリーズより

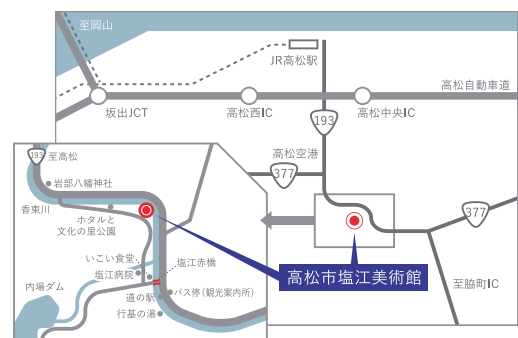
本展は、写真集『うさぎガールと黒縁眼鏡』の出版を記念して開催されるもので、今回の作品は、これまでの作品と同様に“時間”がテーマになっていますが、原点に立ち返っているかのような、地元高松のかつて見慣れた風景を背景に少女(娘)が、画面に写しこまれた差し込む光に向かって飛び跳ねる姿を描写し、作者自身の人生における“時間的概念”というものが、家族(娘)をとおして表現された作品に仕上がっています。また、展示では「アインシュタインロマンス」シリーズのカラーバージョン作品の一部もあわせてご紹介いたします。



《所幸則 略歴》

1961年、高松市生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。渋谷を拠点に活動し、1992年に世界写真見本市「フォトキナ92」で、「世界の新しい表現者」の日本代表として作品が選ばれ、その後海外の雑誌に特集が組まれるなど国内外で活躍。2008年からは『渋谷1sec(セコンド)』シリーズによってファインアートフォトグラファーとしての地位を確立。また、写真塾「所塾」や香川での「フォト・ラボK」を主宰するなど多岐にわたって活動。

14年写真集「One second vol.1Shibuya」、16年写真集「アインシュタインロマンス」、17年写真集「うさぎガールと黒縁眼鏡」を出版。
現在、大阪芸術大学客員教授。



ACCESS バス：JR高松駅から「ことでんバス塩江線」約60分
塩江バスターミナル下車徒歩約15分
自動車：高松中央ICまたは高松西ICより約40分
飛行機：高松空港よりタクシーで約20分

アーティストレクチャー

開催日：平成29年11月5日(日)

時間：13:00~14:00

場所：塩江美術館 企画展示室

入場料：当日の観覧券が必要

内容：所幸則による作品解説

トークイベント

開催日：平成29年11月19日(日)

時間：13:00~14:00

場所：塩江美術館 企画展示室

入場料：当日の観覧券が必要

内容：所幸則とゲストによるトークを開催

ゲスト：杉山武毅

(六甲国際写真祭ディレクター Gallery TANTO TENPO ディレクター)

高松市塩江美術館

Takamatsu Shionoe Museum of Art

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上602

TEL:087-893-1800 FAX:087-893-1833



美術館 HP



創造都市推進局 FB